

平成 27 年度 産業廃棄物実態調査の再整理結果

1 調査概要

(1) 調査目的

本県では、平成 27 年度に高知県産業廃棄物実態調査（以下「実態調査」という。）を実施している。

県内事業者における管理型最終処分場の必要性（ニーズ）等を把握することを目的として、実態調査の再整理を行った。

(2) 調査対象

県内の 8,525 事業所

(3) 調査内容

- ・ 高知県内への管理型最終処分場の必要性について
- ・ 高知県内の管理型最終処分場の望ましい整備主体について

(4) 調査期間

平成 27 年 8 月～9 月

(5) 回答数

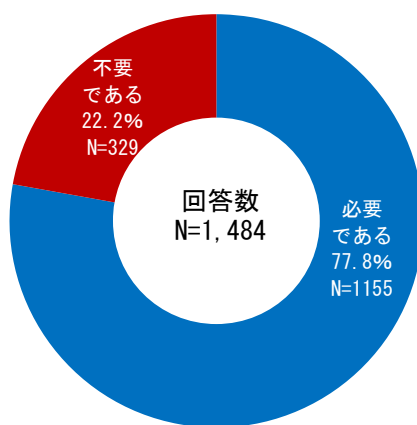
1,659 社

2 調査結果

(1) 高知県内への管理型最終処分場の必要性について

【設問】 今後の管理型最終処分場のあり方についてお答えください。（選択肢のいずれかを選択し、理由を入力してください。）

【管理型最終処分場の必要性】



注) 無回答(N=175)を除く

図 2-1 管理型最終処分場の必要性

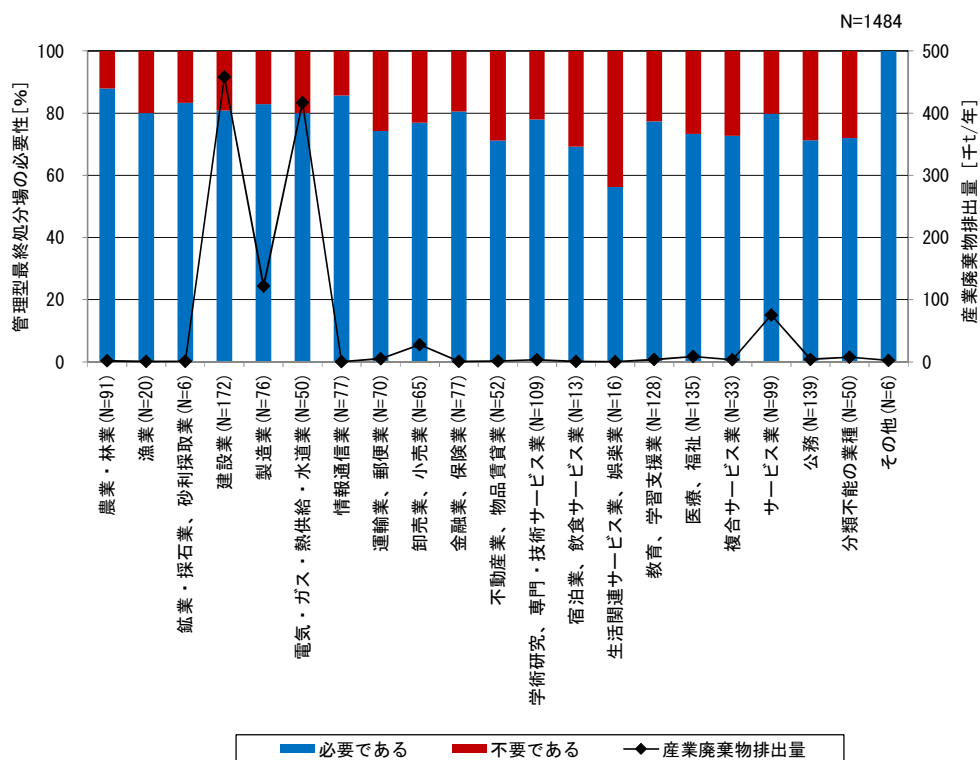


図 2-2 業種別の管理型最終処分場の必要性

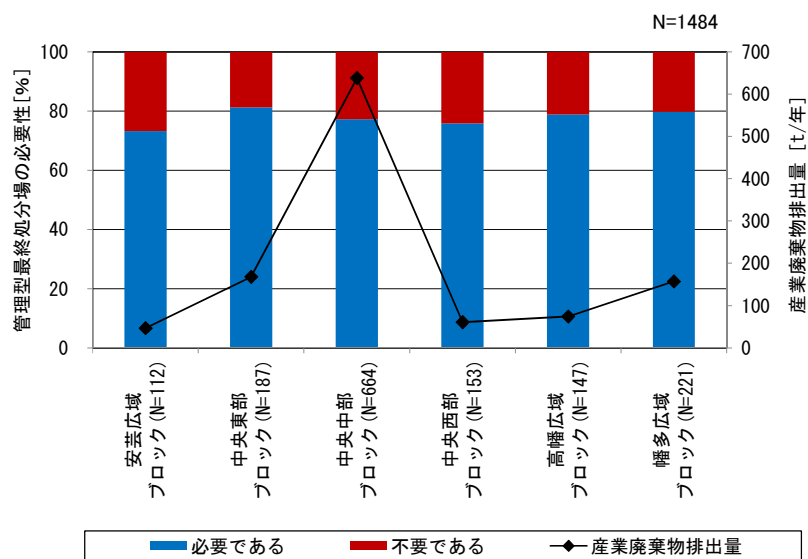


図 2-3 地域別の管理型最終処分場の必要性

【管理型最終処分場が必要又は不要な理由】

表 2-1 管理型最終処分場が必要な理由

項目	管理型最終処分場が必要な理由[%]								産業廃棄物 排出量 [千t/年]
	近くに管理型最 終処分場があっ たほうがよい	県内の廃棄物は 県内で処分する べきである	安定5品目以外 の廃棄物が増え ている	不法投棄の減少 につながる	県民の環境意識 が高まる	県内の環境ビジ ネスの活性化が 見込める	その他		
全体 (N=1155)	30.2	65.1	9.3	52.5	33.6	19.5	1.1	1144.0	
業種別									
農業・林業 (N=80)	31.3	68.8	6.3	63.8	31.3	13.8	0.0	1.6	
漁業 (N=16)	37.5	56.3	0.0	75.0	25.0	12.5	0.0	0.5	
鉱業・採石業、砂利採取業 (N=5)	80.0	20.0	20.0	60.0	60.0	20.0	0.0	1.0	
建設業 (N=139)	43.2	64.7	14.4	59.0	34.5	18.0	0.0	458.3	
製造業 (N=63)	34.9	74.6	11.1	47.6	38.1	22.2	1.6	121.9	
電気・ガス・熱供給・水道業 (N=40)	42.5	55.0	0.0	42.5	22.5	7.5	0.0	416.9	
情報通信業 (N=66)	21.2	72.7	7.6	43.9	22.7	18.2	1.5	0.1	
運輸業、郵便業 (N=52)	25.0	67.3	13.5	44.2	32.7	26.9	3.8	5.3	
卸売業、小売業 (N=50)	30.0	68.0	6.0	48.0	32.0	16.0	2.0	27.7	
金融業、保険業 (N=62)	19.4	37.1	8.1	56.5	43.5	35.5	0.0	0.4	
不動産業、物品賃貸業 (N=37)	32.4	59.5	2.7	45.9	24.3	18.9	0.0	1.4	
学術研究、専門・技術サービス業 (N=85)	20.0	77.6	12.9	51.8	31.8	25.9	0.0	3.3	
宿泊業、飲食サービス業 (N=9)	0.0	88.9	11.1	33.3	44.4	11.1	0.0	0.7	
生活関連サービス業、娯楽業 (N=9)	22.2	55.6	11.1	66.7	33.3	22.2	0.0	0.3	
教育、学習支援業 (N=99)	21.2	68.7	13.1	52.5	36.4	16.2	0.0	3.7	
医療、福祉 (N=99)	28.3	66.7	7.1	48.5	37.4	14.1	1.0	8.5	
複合サービス業 (N=24)	25.0	70.8	4.2	45.8	29.2	12.5	0.0	3.3	
サービス業 (N=79)	35.4	73.4	6.3	57.0	34.2	25.3	1.3	75.3	
公務 (N=99)	32.3	56.6	12.1	54.5	37.4	18.2	6.1	4.2	
分類不能の業種 (N=36)	36.1	55.6	5.6	44.4	30.6	27.8	0.0	7.4	
その他 (N=6)	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	2.3	
地域別									
安芸広域ブロック (N=82)	32.9	61.0	8.5	48.8	28.0	17.1	2.4	46.7	
中央東部ブロック (N=152)	27.6	66.4	7.9	52.6	35.5	21.1	0.0	167.9	
中央中部ブロック (N=513)	29.8	68.0	11.1	51.5	32.2	22.8	0.4	638.0	
中央西部ブロック (N=116)	31.9	71.6	5.2	57.8	43.1	15.5	5.2	60.4	
高幡広域ブロック (N=116)	31.0	62.1	13.8	46.6	34.5	17.2	0.9	73.8	
幡多広域ブロック (N=176)	30.7	55.1	5.1	57.4	31.8	13.6	1.1	157.2	

黄色の色付きは割合が最大となった項目を示す。

表 2-2 管理型最終処分場が不要な理由

項目	管理型最終処分場が不要な理由[%]							産業廃棄物 排出量 [千t/年]
	県外で利用できる 管理型最終処 分場があるから	産業廃棄物量が 減っているから	環境への影響が 懸念される	利用する頻度が 著しく少ない	災害時の安全性 に不安がある	その他		
全体 (N=329)	17.0	6.1	39.5	23.4	30.1	10.6	1144.0	
業種別								
農業・林業 (N=11)	9.1	9.1	72.7	27.3	27.3	9.1	1.6	
漁業 (N=4)	0.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.5	
鉱業・採石業、砂利採取業 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1.0	
建設業 (N=33)	12.1	6.1	45.5	33.3	27.3	9.1	458.3	
製造業 (N=13)	15.4	0.0	30.8	30.8	30.8	0.0	121.9	
電気・ガス・熱供給・水道業 (N=10)	10.0	10.0	20.0	30.0	30.0	10.0	416.9	
情報通信業 (N=11)	0.0	9.1	27.3	36.4	36.4	18.2	0.1	
運輸業、郵便業 (N=18)	16.7	5.6	38.9	11.1	33.3	5.6	5.3	
卸売業、小売業 (N=15)	33.3	0.0	13.3	26.7	20.0	0.0	27.7	
金融業、保険業 (N=15)	20.0	13.3	33.3	13.3	26.7	6.7	0.4	
不動産業、物品賃貸業 (N=15)	6.7	13.3	40.0	33.3	33.3	0.0	1.4	
学術研究、専門・技術サービス業 (N=24)	25.0	4.2	45.8	16.7	29.2	29.2	3.3	
宿泊業、飲食サービス業 (N=4)	0.0	0.0	75.0	25.0	50.0	25.0	0.7	
生活関連サービス業、娯楽業 (N=7)	28.6	0.0	42.9	28.6	28.6	28.6	0.3	
教育、学習支援業 (N=29)	10.3	6.9	27.6	31.0	20.7	17.2	3.7	
医療、福祉 (N=36)	27.8	5.6	30.6	13.9	33.3	5.6	8.5	
複合サービス業 (N=9)	0.0	11.1	66.7	33.3	11.1	0.0	3.3	
サービス業 (N=20)	20.0	10.0	60.0	15.0	30.0	15.0	75.3	
公務 (N=40)	15.0	2.5	47.5	12.5	35.0	12.5	4.2	
分類不能の業種 (N=14)	35.7	0.0	28.6	42.9	42.9	0.0	7.4	
その他 (N=0)	-	-	-	-	-	-	2.3	
地域別								
安芸広域ブロック (N=30)	13.3	10.0	43.3	36.7	33.3	3.3	46.7	
中央東部ブロック (N=35)	20.0	8.6	51.4	25.7	31.4	11.4	167.9	
中央中部ブロック (N=151)	22.5	7.9	36.4	17.9	28.5	10.6	638.0	
中央西部ブロック (N=37)	16.2	0.0	40.5	21.6	32.4	5.4	60.4	
高幡広域ブロック (N=31)	3.2	3.2	35.5	29.0	35.5	12.9	73.8	
幡多広域ブロック (N=45)	8.9	2.2	40.0	28.9	26.7	17.8	157.2	

黄色の色付きは割合が最大となった項目を示す。

(2) 高知県内の管理型最終処分場の望ましい整備主体

【設問】 管理型最終処分場の整備主体は、以下のいずれが望ましいと考えますか。

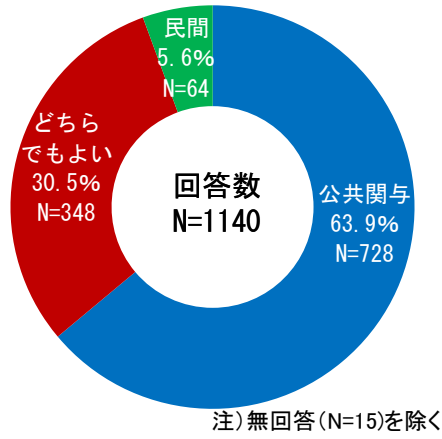


図 2-4 管理型最終処分場の望ましい整備主体

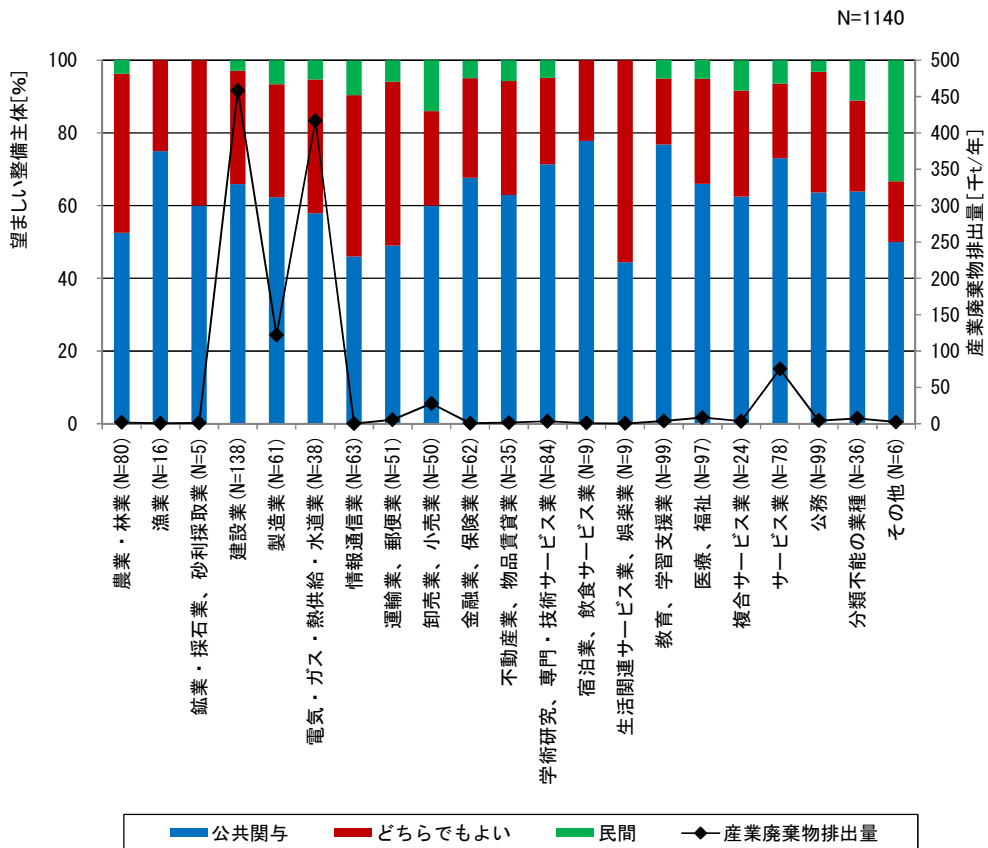


図 2-5 業種別の管理型最終処分場の望ましい整備主体

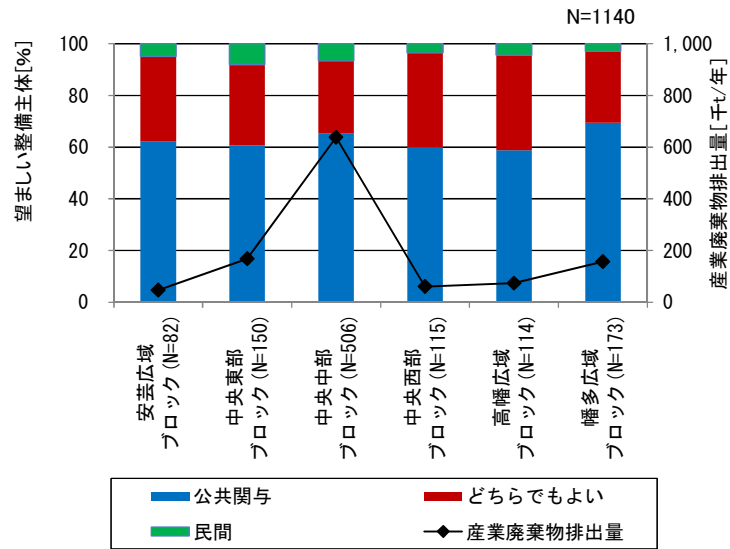


図 2-6 地域別の管理型最終処分場の望ましい整備主体

【設問】 整備主体を選んだ理由について、ふさわしいと考えられる項目にチェックを入れてください。

表 2-3 (1) 公共関与を選んだ理由（施設の整備について）

項目	施設の整備について[%]							
	整備までの期間が短い	設置場所の周辺(地元)住民からの信頼	施設の整備内容(構造、設備)	建設資金の調達の手やすさ	設計及び施行への信頼性	環境負荷の低減策	附帯設備(進入道路など)の整備	
全体(N=728)	8.1	65.4	38.6	26.9	40.1	32.8	29.3	
業種別								
農業・林業(N=42)	2.4	59.5	42.9	40.5	28.6	28.6	45.2	
漁業(N=12)	0.0	66.7	33.3	16.7	25.0	58.3	33.3	
鉱業・採石業、砂利採取業(N=3)	0.0	100.0	33.3	0.0	33.3	66.7	66.7	
建設業(N=91)	13.2	63.7	45.1	30.8	45.1	35.2	30.8	
製造業(N=38)	13.2	78.9	39.5	36.8	50.0	50.0	39.5	
電気・ガス・熱供給・水道業(N=22)	4.5	86.4	31.8	4.5	54.5	22.7	9.1	
情報通信業(N=29)	3.4	65.5	31.0	37.9	31.0	37.9	27.6	
運輸業、郵便業(N=25)	8.0	60.0	32.0	40.0	28.0	32.0	32.0	
卸売業、小売業(N=30)	16.7	60.0	56.7	36.7	33.3	36.7	30.0	
金融業、保険業(N=42)	0.0	73.8	31.0	21.4	28.6	31.0	9.5	
不動産業、物品賃貸業(N=22)	9.1	54.5	27.3	27.3	36.4	36.4	31.8	
学術研究、専門・技術サービス業(N=60)	13.3	68.3	30.0	30.0	55.0	30.0	30.0	
宿泊業、飲食サービス業(N=7)	14.3	57.1	14.3	0.0	14.3	28.6	28.6	
生活関連サービス業、娯楽業(N=4)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	
教育、学習支援業(N=76)	6.6	63.2	43.4	21.1	43.4	30.3	26.3	
医療、福祉(N=64)	4.7	53.1	39.1	21.9	40.6	32.8	29.7	
複合サービス業(N=15)	6.7	40.0	33.3	13.3	33.3	20.0	13.3	
サービス業(N=57)	8.8	78.9	38.6	29.8	33.3	31.6	35.1	
公務(N=63)	7.9	71.4	44.4	19.0	47.6	33.3	31.7	
分類不能の業種(N=23)	8.7	52.2	39.1	34.8	34.8	13.0	21.7	
その他(N=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	
地域別								
安芸広域ブロック(N=51)	7.8	64.7	43.1	21.6	33.3	31.4	27.5	
中央東部ブロック(N=91)	7.7	73.6	37.4	22.0	34.1	42.9	31.9	
中央中部ブロック(N=330)	10.0	64.2	37.6	30.0	39.4	32.7	28.5	
中央西部ブロック(N=69)	1.4	63.8	36.2	24.6	60.9	29.0	30.4	
高幡広域ブロック(N=67)	6.0	65.7	43.3	34.3	47.8	29.9	25.4	
幡多広域ブロック(N=120)	8.3	63.3	39.2	21.7	33.3	30.0	31.7	

黄色の色付きは割合が最大となった項目を示す。

表 2-3 (2) 公共関与を選んだ理由（施設の管理運営について）

項目	施設の管理運営について[%]								事故への対応	
	埋立物の適切な管理	処分費用の妥当性	運営体制の信頼度	設備の管理と性能の維持	事業の継続性	跡地の管理				
全体(N=728)	64.1	39.7	53.6	39.7	52.2	24.2			40.8	
業種別										
農業・林業(N=42)	54.8	42.9	50.0	35.7	57.1	28.6			40.5	
漁業(N=12)	66.7	50.0	41.7	25.0	25.0	16.7			66.7	
鉱業・採石業、砂利採取業(N=3)	100.0	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3			0.0	
建設業(N=91)	69.2	42.9	49.5	33.0	42.9	24.2			28.6	
製造業(N=38)	68.4	50.0	57.9	36.8	63.2	31.6			52.6	
電気・ガス・熱供給・水道業(N=22)	72.7	36.4	63.6	59.1	50.0	9.1			22.7	
情報通信業(N=29)	51.7	41.4	58.6	34.5	62.1	20.7			34.5	
運輸業、郵便業(N=25)	52.0	48.0	36.0	28.0	52.0	28.0			36.0	
卸売業、小売業(N=30)	70.0	46.7	50.0	50.0	46.7	16.7			43.3	
金融業、保険業(N=42)	64.3	19.0	59.5	35.7	54.8	31.0			45.2	
不動産業、物品賃貸業(N=22)	63.6	18.2	31.8	31.8	50.0	22.7			22.7	
学術研究、専門・技術サービス業(N=60)	66.7	36.7	43.3	36.7	53.3	20.0			48.3	
宿泊業、飲食サービス業(N=7)	42.9	14.3	71.4	42.9	42.9	14.3			28.6	
生活関連サービス業、娯楽業(N=4)	75.0	25.0	75.0	25.0	50.0	0.0			50.0	
教育、学習支援業(N=76)	71.1	42.1	64.5	44.7	53.9	23.7			53.9	
医療、福祉(N=64)	65.6	45.3	46.9	45.3	51.6	21.9			34.4	
複合サービス業(N=15)	53.3	33.3	46.7	40.0	26.7	6.7			26.7	
サービス業(N=57)	70.2	47.4	54.4	47.4	64.9	33.3			43.9	
公務(N=63)	60.3	36.5	68.3	44.4	55.6	31.7			50.8	
分類不能の業種(N=23)	34.8	30.4	52.2	34.8	52.2	17.4			30.4	
その他(N=3)	66.7	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0			33.3	
地域別										
安芸広域ブロック(N=51)	68.6	43.1	64.7	37.3	41.2	25.5			47.1	
中央東部ブロック(N=91)	59.3	46.2	52.7	41.8	51.6	22.0			48.4	
中央中部ブロック(N=330)	65.8	39.4	49.7	40.3	51.2	23.9			36.4	
中央西部ブロック(N=69)	60.9	39.1	60.9	42.0	68.1	31.9			44.9	
高幡広域ブロック(N=67)	64.2	34.3	61.2	32.8	56.7	7.5			34.3	
幡多広域ブロック(N=120)	63.3	37.5	51.7	40.0	48.3	30.8			45.8	

黄色の色付きは割合が最大となった項目を示す。

表 2-3 (3) 公共関与を選んだ理由（施設の利用について・その他）

項目	施設の利用について[%]					その他[%]		
	利用者へのインセンティブの付与	受入に関する手続きの簡便さ	他事業との連携の可能性	研究機関との連携や新技術の実験	収益性の高さ	地元への利益還元	その他	
全体(N=728)	27.2	49.6	31.2	31.6	10.2	67.7	3.0	3.0
業種別								
農業・林業(N=42)	11.9	54.8	33.3	35.7	7.1	57.1	7.1	7.1
漁業(N=12)	0.0	75.0	16.7	25.0	8.3	66.7	0.0	0.0
鉱業・採石業、砂利採取業(N=3)	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0
建設業(N=91)	20.9	60.4	28.6	27.5	12.1	61.5	3.3	3.3
製造業(N=38)	34.2	65.8	23.7	31.6	5.3	65.8	10.5	10.5
電気・ガス・熱供給・水道業(N=22)	18.2	54.5	18.2	13.6	13.6	68.2	0.0	0.0
情報通信業(N=29)	31.0	41.4	37.9	41.4	13.8	72.4	0.0	0.0
運輸業、郵便業(N=25)	20.0	40.0	32.0	40.0	16.0	72.0	0.0	0.0
卸売業、小売業(N=30)	36.7	63.3	36.7	33.3	10.0	63.3	6.7	6.7
金融業、保険業(N=42)	45.2	31.0	21.4	35.7	9.5	73.8	2.4	2.4
不動産業、物品賃貸業(N=22)	31.8	36.4	9.1	31.8	4.5	72.7	0.0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業(N=60)	33.3	46.7	35.0	43.3	5.0	75.0	1.7	1.7
宿泊業、飲食サービス業(N=7)	14.3	42.9	28.6	28.6	14.3	57.1	14.3	14.3
生活関連サービス業、娯楽業(N=4)	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
教育、学習支援業(N=76)	27.6	36.8	42.1	39.5	14.5	69.7	3.9	3.9
医療、福祉(N=64)	18.8	56.3	31.3	25.0	14.1	59.4	0.0	0.0
複合サービス業(N=15)	20.0	53.3	13.3	13.3	20.0	46.7	0.0	0.0
サービス業(N=57)	31.6	45.6	31.6	33.3	7.0	75.4	1.8	1.8
公務(N=63)	38.1	42.9	39.7	25.4	7.9	74.6	4.8	4.8
分類不能の業種(N=23)	26.1	60.9	39.1	21.7	4.3	69.6	0.0	0.0
その他(N=3)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
地域別								
安芸広域ブロック(N=51)	29.4	60.8	35.3	25.5	13.7	80.4	2.0	2.0
中央東部ブロック(N=91)	20.9	59.3	24.2	31.9	8.8	70.3	3.3	3.3
中央中部ブロック(N=330)	32.1	46.4	32.1	35.8	11.2	64.2	2.7	2.7
中央西部ブロック(N=69)	20.3	43.5	33.3	30.4	11.6	68.1	5.8	5.8
高幡広域ブロック(N=67)	20.9	55.2	40.3	22.4	10.4	67.2	4.5	4.5
幡多広域ブロック(N=120)	25.0	46.7	25.8	28.3	5.8	70.0	1.7	1.7

黄色の色付きは割合が最大となった項目を示す。

表 2-4 (1) どちらでもよいを選んだ理由 (施設の整備について)

項目	施設の整備について[%]							
	整備までの期間が短い	設置場所の周辺(地元)住民からの信頼	施設の整備内容(構造、設備)	建設資金の調達のしやすさ	設計及び施工への信頼性	環境負荷の低減策	附帯設備(進入道路など)の整備	
全体(N=348)	16.7	38.8	30.5	8.0	15.5	29.0	14.7	
業種別								
農業・林業(N=35)	22.9	34.3	17.1	2.9	8.6	20.0	11.4	
漁業(N=4)	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	
鉱業・採石業、砂利採取業(N=2)	0.0	100.0	100.0	0.0	50.0	50.0	50.0	
建設業(N=43)	18.6	46.5	23.3	11.6	20.9	34.9	16.3	
製造業(N=19)	5.3	31.6	36.8	5.3	5.3	52.6	15.8	
電気・ガス・熱供給・水道業(N=14)	14.3	42.9	35.7	0.0	14.3	14.3	21.4	
情報通信業(N=28)	21.4	17.9	32.1	3.6	14.3	21.4	10.7	
運輸業、郵便業(N=23)	34.8	43.5	39.1	4.3	17.4	39.1	13.0	
卸売業、小売業(N=13)	7.7	69.2	7.7	7.7	23.1	23.1	15.4	
金融業、保険業(N=17)	5.9	23.5	47.1	0.0	0.0	5.9	5.9	
不動産業、物品賃貸業(N=11)	18.2	45.5	27.3	0.0	18.2	27.3	9.1	
学術研究、専門・技術サービス業(N=20)	5.0	45.0	30.0	20.0	20.0	50.0	25.0	
宿泊業、飲食サービス業(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
生活関連サービス業、娯楽業(N=5)	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	
教育、学習支援業(N=18)	16.7	44.4	27.8	11.1	22.2	22.2	22.2	
医療、福祉(N=28)	25.0	46.4	50.0	10.7	32.1	42.9	14.3	
複合サービス業(N=7)	0.0	42.9	71.4	0.0	14.3	0.0	0.0	
サービス業(N=16)	12.5	31.3	18.8	6.3	12.5	43.8	25.0	
公務(N=33)	12.1	27.3	18.2	21.2	9.1	18.2	12.1	
分類不能の業種(N=9)	11.1	66.7	66.7	11.1	22.2	22.2	11.1	
その他(N=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地域別								
安芸広域ブロック(N=27)	25.9	22.2	25.9	11.1	3.7	18.5	7.4	
中央東部ブロック(N=47)	19.1	36.2	17.0	4.3	17.0	21.3	10.6	
中央中部ブロック(N=142)	17.6	41.5	33.8	8.5	13.4	33.1	12.0	
中央西部ブロック(N=42)	11.9	47.6	42.9	9.5	26.2	33.3	11.9	
高幡広域ブロック(N=42)	9.5	38.1	26.2	9.5	23.8	21.4	21.4	
幡多広域ブロック(N=48)	16.7	35.4	29.2	6.3	10.4	33.3	27.1	

黄色の色付きは割合が最大となった項目を示す。

表 2-4 (2) どちらでもよいを選んだ理由 (施設の管理運営について)

項目	施設の管理運営について[%]							
	埋立物の適切な管理	処分費用の妥当性	運営体制の信頼度	設備の管理と性能の維持	事業の継続性	跡地の管理	事故への対応	
全体 (N=348)	44.0	41.1	34.2	26.7	26.4	13.2	27.9	
業種別								
農業・林業 (N=35)	57.1	45.7	20.0	20.0	20.0	5.7	22.9	
漁業 (N=4)	75.0	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	50.0	
鉱業・採石業、砂利採取業 (N=2)	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
建設業 (N=43)	46.5	44.2	37.2	25.6	39.5	16.3	23.3	
製造業 (N=19)	52.6	52.6	26.3	26.3	31.6	5.3	10.5	
電気・ガス・熱供給・水道業 (N=14)	57.1	57.1	42.9	35.7	7.1	0.0	28.6	
情報通信業 (N=28)	35.7	10.7	28.6	21.4	25.0	17.9	25.0	
運輸業、郵便業 (N=23)	52.2	69.6	34.8	34.8	34.8	17.4	26.1	
卸売業、小売業 (N=13)	38.5	46.2	15.4	15.4	23.1	15.4	38.5	
金融業、保険業 (N=17)	11.8	23.5	35.3	11.8	5.9	0.0	23.5	
不動産業、物品賃貸業 (N=11)	45.5	27.3	27.3	27.3	9.1	9.1	27.3	
学術研究、専門・技術サービス業 (N=20)	35.0	55.0	45.0	35.0	25.0	20.0	35.0	
宿泊業、飲食サービス業 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
生活関連サービス業、娯楽業 (N=5)	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	
教育、学習支援業 (N=18)	50.0	27.8	50.0	50.0	16.7	11.1	50.0	
医療、福祉 (N=28)	53.6	46.4	53.6	39.3	42.9	25.0	35.7	
複合サービス業 (N=7)	28.6	71.4	57.1	42.9	42.9	28.6	28.6	
サービス業 (N=16)	37.5	37.5	12.5	25.0	37.5	12.5	18.8	
公務 (N=33)	33.3	24.2	33.3	18.2	15.2	12.1	27.3	
分類不能の業種 (N=9)	44.4	22.2	44.4	33.3	44.4	22.2	55.6	
その他 (N=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地域別								
安芸広域ブロック (N=27)	44.4	51.9	22.2	18.5	22.2	0.0	7.4	
中央東部ブロック (N=47)	31.9	36.2	36.2	25.5	17.0	4.3	38.3	
中央中部ブロック (N=142)	37.3	40.1	35.9	30.3	28.2	14.1	28.2	
中央西部ブロック (N=42)	59.5	35.7	35.7	28.6	28.6	23.8	35.7	
高幡広域ブロック (N=42)	45.2	47.6	31.0	28.6	33.3	14.3	21.4	
幡多広域ブロック (N=48)	60.4	41.7	35.4	18.8	25.0	16.7	27.1	

表 2-4 (3) どちらでもよいを選んだ理由（施設の利用について・その他）

項目	施設の利用について[%]					その他[%]			
	利用者へのインセンティブの付与	受入に関する手続きの簡便さ	他事業との連携の可能性	研究機関との連携や新技術の実験	収益性の高さ	地元への利益還元	その他		
全体(N=348)	15.2	52.3	22.4	16.7	13.5	54.3	3.2		
業種別	農業・林業(N=35)	14.3	48.6	8.6	20.0	17.1	45.7	0.0	
	漁業(N=4)	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	
	鉱業・採石業、砂利採取業(N=2)	50.0	100.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	
	建設業(N=43)	14.0	60.5	34.9	9.3	16.3	48.8	2.3	
	製造業(N=19)	10.5	63.2	15.8	31.6	10.5	68.4	0.0	
	電気・ガス・熱供給・水道業(N=14)	7.1	50.0	42.9	0.0	14.3	57.1	7.1	
	情報通信業(N=28)	21.4	35.7	21.4	10.7	7.1	42.9	0.0	
	運輸業、郵便業(N=23)	26.1	65.2	26.1	13.0	21.7	82.6	0.0	
	卸売業、小売業(N=13)	15.4	61.5	23.1	7.7	23.1	76.9	0.0	
	金融業、保険業(N=17)	11.8	47.1	5.9	0.0	0.0	35.3	0.0	
	不動産業、物品賃貸業(N=11)	0.0	45.5	18.2	18.2	27.3	63.6	9.1	
	学術研究、専門・技術サービス業(N=20)	5.0	55.0	25.0	30.0	15.0	55.0	5.0	
	宿泊業、飲食サービス業(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	生活関連サービス業、娯楽業(N=5)	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	
	教育、学習支援業(N=18)	16.7	44.4	22.2	33.3	5.6	61.1	0.0	
	医療、福祉(N=28)	21.4	64.3	17.9	28.6	17.9	57.1	3.6	
	複合サービス業(N=7)	0.0	71.4	42.9	0.0	14.3	57.1	0.0	
	サービス業(N=16)	12.5	56.3	31.3	18.8	6.3	62.5	12.5	
	公務(N=33)	12.1	39.4	18.2	15.2	9.1	39.4	12.1	
	分類不能の業種(N=9)	55.6	33.3	22.2	33.3	11.1	55.6	0.0	
その他(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
地域別	安芸広域ブロック(N=27)	11.1	59.3	14.8	7.4	14.8	44.4	0.0	
	中央東部ブロック(N=47)	10.6	42.6	21.3	12.8	6.4	51.1	4.3	
	中央中部ブロック(N=142)	16.9	54.2	19.0	19.7	14.1	57.0	2.8	
	中央西部ブロック(N=42)	21.4	45.2	26.2	31.0	16.7	54.8	9.5	
	高幡広域ブロック(N=42)	11.9	52.4	31.0	11.9	19.0	54.8	0.0	
	幡多広域ブロック(N=48)	14.6	58.3	27.1	8.3	10.4	54.2	2.1	

黄色の色付きは割合が最大となった項目を示す。

表 2-5 (1) 民間を選んだ理由 (施設の整備について)

項目	施設の整備について[%]									
	整備までの期間が短い	設置場所の周辺(地元)住民からの信頼	施設の整備内容(構造、設備)	建設資金の調達のしやすさ	設計及び施行への信頼性	環境負荷の低減策	附帯設備(進入道路など)の整備			
全体(N=64)	28.1	28.1	23.4	21.9	20.3	17.2	4.7			
農業・林業(N=3)	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0			
漁業(N=0)	-	-	-	-	-	-	-			
鉱業・採石業、砂利採取業(N=0)	-	-	-	-	-	-	-			
建設業(N=4)	25.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0			
製造業(N=4)	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0			
電気・ガス・熱供給・水道業(N=2)	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0			
情報通信業(N=6)	33.3	16.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0			
運輸業、郵便業(N=3)	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0			
卸売業、小売業(N=7)	42.9	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0			
金融業、保険業(N=3)	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0			
不動産業、物品賃貸業(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
学術研究、専門・技術サービス業(N=4)	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0			
宿泊業、飲食サービス業(N=0)	-	-	-	-	-	-	-			
生活関連サービス業、娯楽業(N=0)	-	-	-	-	-	-	-			
教育、学習支援業(N=5)	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0			
医療、福祉(N=5)	0.0	40.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0			
複合サービス業(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0			
サービス業(N=5)	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0			
公務(N=3)	66.7	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3			
分類不能の業種(N=4)	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0			
その他(N=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
安芸広域ブロック(N=4)	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	25.0			
中央東部ブロック(N=12)	41.7	25.0	16.7	25.0	16.7	16.7	0.0			
中央中部ブロック(N=34)	26.5	29.4	20.6	26.5	26.5	17.6	2.9			
中央西部ブロック(N=4)	0.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0			
高幡広域ブロック(N=5)	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0			
幡多広域ブロック(N=5)	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0			

黄色の色付きは割合が最大となった項目を示す。

表 2-5 (2) 民間を選んだ理由 (施設の管理運営について)

項目	施設の管理運営について[%]									
	埋立物の適切な管理	処分費用の妥当性	運営体制の信頼度	設備の管理と性能の維持	事業の継続性	跡地の管理	事故への対応			
全体 (N=64)	39.1	42.2	43.8	23.4	25.0	12.5	18.8			
業種別										
農業・林業 (N=3)	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3			
漁業 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-			
鉱業・採石業、砂利採取業 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-			
建設業 (N=4)	25.0	100.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0			
製造業 (N=4)	75.0	25.0	50.0	50.0	50.0	25.0	50.0			
電気・ガス・熱供給・水道業 (N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0			
情報通信業 (N=6)	50.0	50.0	33.3	16.7	50.0	0.0	16.7			
運輸業、郵便業 (N=3)	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7	66.7	100.0			
卸売業、小売業 (N=7)	14.3	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0	14.3			
金融業、保険業 (N=3)	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
不動産業、物品賃貸業 (N=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
学術研究、専門・技術サービス業 (N=4)	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
宿泊業、飲食サービス業 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-			
生活関連サービス業、娯楽業 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-			
教育、学習支援業 (N=5)	20.0	20.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0			
医療、福祉 (N=5)	60.0	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0			
複合サービス業 (N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0			
サービス業 (N=5)	20.0	60.0	60.0	20.0	20.0	20.0	40.0			
公務 (N=3)	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3			
分類不能の業種 (N=4)	50.0	50.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0			
その他 (N=2)	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0			
地域別										
安芸広域ブロック (N=4)	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	25.0			
中央東部ブロック (N=12)	33.3	41.7	33.3	8.3	25.0	8.3	25.0			
中央中部ブロック (N=34)	38.2	52.9	47.1	29.4	23.5	17.6	20.6			
中央西部ブロック (N=4)	50.0	50.0	75.0	25.0	50.0	25.0	25.0			
高幡広域ブロック (N=5)	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0			
幡多広域ブロック (N=5)	80.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0			

黄色の色付きは割合が最大となった項目を示す。

表 2-5 (3) 民間を選んだ理由 (施設の利用について・その他)

項目	施設の利用について[%]					その他[%]		
	利用者へのインセンティブの付与	受入に関する手続きの簡便さ	他事業との連携の可能性	研究機関との連携や新技術の実験	収益性の高さ	地元への利益還元	その他	
全体 (N=64)	28.1	43.8	35.9	23.4	29.7	57.8	3.1	3.1
業種別								
農業・林業 (N=3)	33.3	66.7	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
漁業 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
鉱業・採石業、砂利採取業 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業 (N=4)	0.0	75.0	25.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
製造業 (N=4)	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	100.0	0.0	0.0
電気・ガス・熱供給・水道業 (N=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
情報通信業 (N=6)	33.3	66.7	33.3	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0
運輸業、郵便業 (N=3)	33.3	0.0	100.0	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0
卸売業、小売業 (N=7)	42.9	14.3	14.3	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0
金融業、保険業 (N=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
不動産業、物品賃貸業 (N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業 (N=4)	0.0	75.0	50.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0
宿泊業、飲食サービス業 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
生活関連サービス業、娯楽業 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
教育、学習支援業 (N=5)	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0
医療、福祉 (N=5)	20.0	60.0	20.0	80.0	20.0	80.0	0.0	0.0
複合サービス業 (N=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
サービス業 (N=5)	20.0	60.0	60.0	40.0	40.0	80.0	0.0	0.0
公務 (N=3)	66.7	33.3	0.0	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0
分類不能の業種 (N=4)	50.0	50.0	25.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
その他 (N=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
地域別								
安芸広域ブロック (N=4)	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	100.0	0.0	0.0
中央東部ブロック (N=12)	33.3	41.7	25.0	16.7	50.0	25.0	0.0	0.0
中央中部ブロック (N=34)	29.4	41.2	44.1	26.5	32.4	64.7	5.9	5.9
中央西部ブロック (N=4)	25.0	75.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
高幡広域ブロック (N=5)	0.0	60.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0
幡多広域ブロック (N=5)	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0

黄色の色付きは割合が最大となった項目を示す。